

令和3年度 学校運営等に関する評価書

学校名	和歌山市立高積中学校
作成日	令和 4 年 3 月 4 日

1 教育目標

学校教育目標 「心豊かで、たくましい生徒の育成」

自ら学ぶ(自主)生徒 自ら考えて正しく行動する(内省)生徒 心身ともに鍛える(鍛錬)生徒

実践目標 ①時間を大切にする生徒 ②物を大切にする(校内を美しくする)生徒 ③挨拶をする生徒

④きまりを守る生徒 ⑤人を大切にする(仲良く助け合う)生徒 の育成

2 学校自己評価についてのご意見

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> ・県学習到達度調査で県平均を上回る ・めあてと振り返りを必ず授業で行う ・わかる授業、子ども主体の授業を実践した 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が楽しいと感じる ・特別な教科道德の実践 ・いじめの発生件数 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝ごはんを食べた ・運動部活動の加入率 ・積極的に運動を行うように計画し実践した 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の様子がよく伝わった ・中学校区での連携した取組を具体的に実践できた
重点目標に対する	<ul style="list-style-type: none"> ・授業における指導工夫改善のための研修をさらに深め、すべての教員が実践できるようにお願いしたい。 ・家庭学習習慣を育成していくことは大切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導方針に則り、徘徊防止等の手立てを全教員で共通理解のもと行っているのがありがたい。 ・人権意識を高めるため特設授業をおこなっているが、言葉遣いや他人への接し方に気になる生徒がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上とともに、体力向上の推進もお願いしたい。 ・生徒の危機回避能力の育成も重要なことである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を積極的に発信することはもちろん大切だが、保護者にも常にアンテナを磨いてもらうことが必要。 ・地域との連携についてまだまだ不十分な感じはあるが、後半図書ボランティアを進めていけたのが前進した。
取組状況に対する	<ul style="list-style-type: none"> ・めあて、ふり返りの徹底をお願いしたい ・授業参観をして、落ち着いて授業ができています。基礎基本の定着が重要であることが改めてわかった 	<ul style="list-style-type: none"> ・人権同和については、組織的・計画的に取り組んでいるのがありがたい ・いじめのない学校・学級づくりを目指し、道德の授業の充実をお願いしたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・昼休憩は積極的にグラウンドに出て身体を動かすように働きかけることは大切である。 ・避難訓練や交通安全指導を計画的におこなっているため、今後も継続してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ともう少し交流の場を広げていけないだろうか ・学校開放期間中に保護者や地域の人々が来校されたのは関心を強くもっているからでしょう
取組の適意の見の検証結果	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果をどう分析するかが課題である。結果に対して、共通理解のもと適切に判断して取り組む必要があると思う ・テスト発表期間中に質問日をつけて補充学習に取り組めているのは良い ・学習における基礎基本の定着は少しずつではあるが上向きになってきている 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導に関しての報告・連絡・相談は概ねできていると思う。 ・あいさつは、アンケート結果からもわかるように、概ねできている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練の大切さや交通安全指導の徹底を生徒に理解させていただきたい。 ・早寝早起き朝ごはんを守れない生徒がいるのが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校からのお知らせをプリントで知らせているが、なかなか周知できていない ・HPの更新数が上がり、学校の様子がわかるようになってきている
改善方法に向けた意見	<ul style="list-style-type: none"> ・宿題の工夫等による家庭学習習慣をさらに身につくような方策を考えてほしい。例えば、量を増やすとか、自由学習の高積様式を作るなど。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題のある生徒には、粘り強く指導していく必要がある。 ・あいさつ運動は、保護者や生徒会の協力を得て続けているので、今後も続けてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動において、外部指導者と顧問との連携をさらに密にお願いしたい。 ・早寝早起き朝ごはんが学力と密接な関係があることを今後ずっと伝えていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携を深めるために、地域の教育資源や人材をもっと活用してほしい。 ・学校運営協議会のメンバーだけでなく、中学校に関心をもつ人たちにも広く門戸を開いてほしい。

3 その他のご意見